

第1学年 道徳指導案

日 時 平成23年9月30日(金) 5校時

児 童 男子9名 女子10名 計19名

指導者 小 田 潔 恵

- 1 主題名 わがままなきもち [1-(1) 節度・節制]
- 2 資料名 かぼちゃのつる (学研 みんなのどうとく 1年)
- 3 主題について

(1) 価値について

小学校学習指導要領第3章道徳の第1学年及び第2学年の内容1「主として自分自身に関すること」の(1)に「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。」とある。これは、中学年の「自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。」及び高学年の「生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。」と深くかかわっている。進んで自分のことを行い、節度を守る児童を育てようとする内容項目である。

この時期の児童は、周りを気にかけずに自分の思うままに行動したことが、周りの人を困らせる場合もあることに気付かないことが多い。そこで、本主題をもとに自分のわがままな振る舞いが他人に迷惑をかけることについて考えさせることが大切であると考えた。

(2) 児童について

学級の児童は、穏和で明るい子どもが多く、素直な態度で学校生活を送っている。4月に入学し、『元気いっぱい1年生』を学年テーマとして掲げ、小学校で初めて体験する数々の活動を楽しんできた。学級では、朝の会で日直が「今日のめあて」を設定し、帰りの会で反省を行っている。「今日のきりり」のコーナーでは、めあてを守ろうとがんばっていた子どもの名前を挙げ、ほめる姿もみられる。

しかし、休み時間や清掃活動などの場面では、忠告されても自分のことだけを考えて行動した結果、学級全体または友達に迷惑をかけることも少なくない。そこで自分勝手なわがままな行動は迷惑をかけることに気付かせ、忠告を素直に聞き入れることを大切にする心情を育てていきたい。

(3) 資料について

みんなの忠告に耳を貸さず、好き放題つるを伸ばしたかぼちゃが、最後につるをトラックに切られ、痛い思いをするという内容である。注意されてもわがままを通していったかぼちゃの気持ちを考えることで、人の忠告を聞くことの大切さに気付かせていくことのできる資料である。

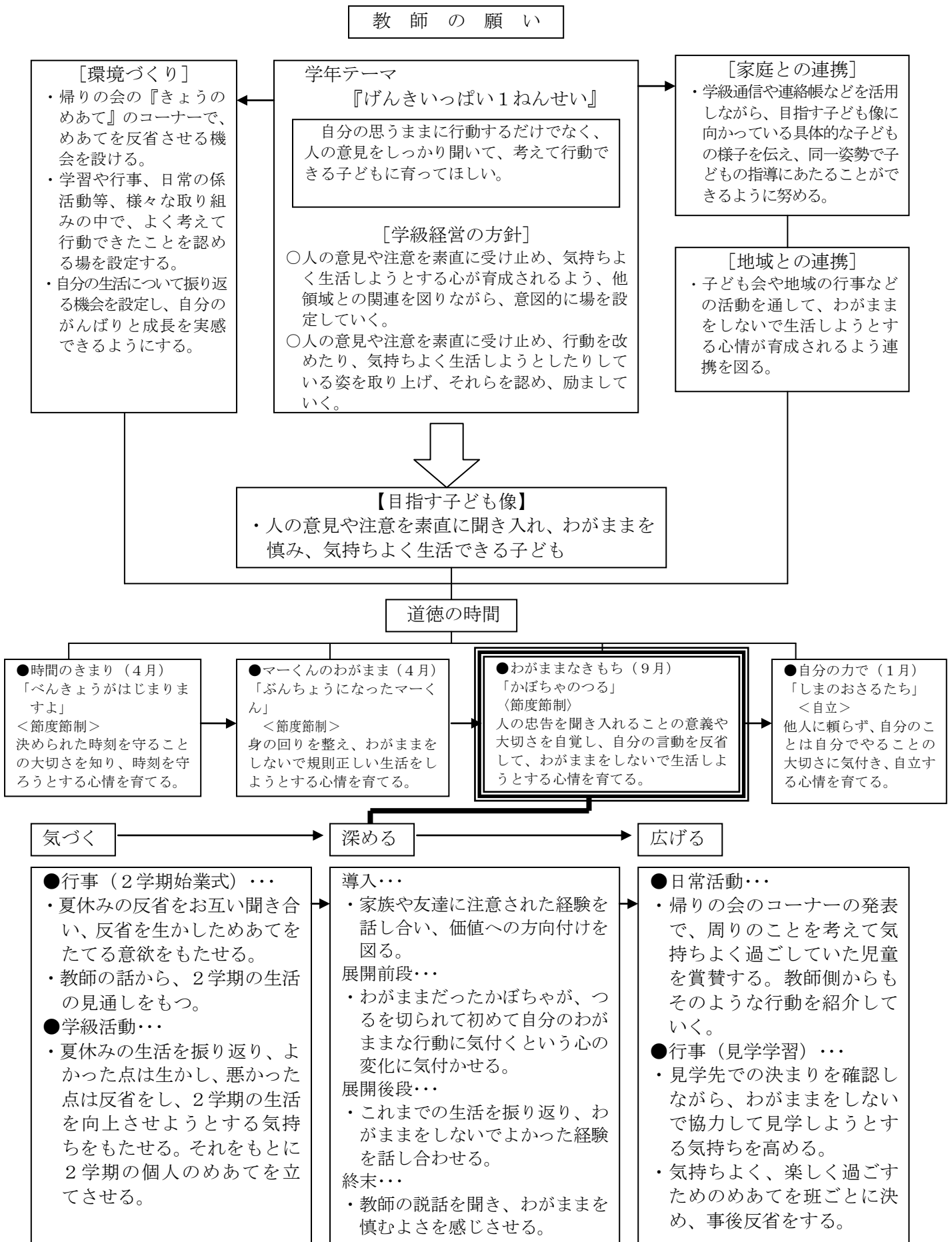
(4) 指導について

本時の授業では、わがままなかぼちゃの心情に共感させ、これまでの生活体験と重ね合わせながら、ねらいにかかわる価値について考えていけるよう、次の手立てを講じていく。

- ・かぼちゃのわがままな気持ちに共感させるため、動作化と役割演技を取り入れる。活発な意見交換ができるように、役割演技をしている児童だけでなく、役割演技を見ていた児童にも、そのときのかぼちゃの気持ちを語らせるようにする。
- ・導入の段階では、注意されても素直に聞けなかった経験を取りあげ、ねらいとする価値への方向付けを図りたい。また、展開後段では、これまでの自分を振り返り、わがままをしなかった経験やそのときの気持ちを語らせることで、周りの人も気持ちよく生活できるということに気付かせ実践意欲を高めていきたい。
- ・展開前段で、児童が話の内容に興味をもち、自分のこととして考えが深まるように紙芝居を活用して資料を提示する。

4 指導の構想

「人の忠告を聞き入れることの意義や大切さを自覚し、自分の言動を反省して、わがままをしないで生活をしようとする心」を育てる学級における指導の構想



5 本時の指導

(1) ねらい

人の忠告を聞き入れることの意義や大切さを自覚し、自分の言動を反省して、わがままをしないで生活しようとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習内容と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 人に注意をされたが、素直に聞けなかったことを発表する。</p> <p>○家族や友達に、どんなことで注意されたことがありますか。</p> <p>・そのとき注意を聞きましたか。それはどうしてですか。</p>	<p>・宿題を先にしなさいと言われた。</p> <p>・廊下を走って注意された。</p> <p>・ぞうきんがけの順番を守らず注意された。</p> <p>・すぐには聞かなかった。めんどくさかったから。</p> <p>・すぐに聞いた。みんなが困っているから。</p>	<p>・今までの活動や体験を想起させ、価値への方向付けを図る。</p>
展開前段 30分	<p>2 資料を読み内容を確認する。</p> <p>○かぼちゃの気持ちを考えながら聞きましょう。</p> <p>3 主人公の行動、気持ちについて考える。</p> <p>○つるをぐんぐん伸ばしているとき、かぼちゃはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○はち、ちょう、すいか、いぬに注意されたとき、かぼちゃはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・はちに注意されたとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・ちょうに注意されたとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・すいかに注意されたとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>・いぬに注意されたとき、どんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>・楽しいなあ。</p> <p>・どんどん大きくなるぞ。</p> <p>・もっと遠くまで伸びるぞ。</p> <p>・気持ちがいいなあ。</p> <p>・そんなの知らないよ。</p> <p>・ちょっとくらいいいだろう。</p> <p>・人がよければいいだろう。</p> <p>・そっちに行きたいの。</p> <p>・ぼくの畑はせまいんだもの。</p> <p>・けちなこと言うなよ。</p> <p>・いいじゃないか</p> <p>・うるさいなあ。</p> <p>・またいで行ってよ。</p> <p>・ほっておいてよ。</p> <p>・ぼくの勝手だろう。</p>	<p>・紙芝居を使って資料を提示することにより、内容を確認させる。</p> <p>・黒板に掲示したかぼちゃのつるを実際に伸ばしてみて、かぼちゃが気持ちよくつるを伸ばしている様子を感じ取らせる。</p> <p>・動作化を取り入れ、かぼちゃの気持ちをとらえやすくする。</p> <p>・他人の迷惑を考えずにわがままを通そうとするかぼちゃの気持ちに共感できるように、役割演技を取り入れる。</p> <p>・児童がかぼちゃに同化し、気持ちを発表できるように、「すこしぐらいいいじゃないか。けちけちするな。」「またいでとおればいいじゃないか。」の台詞を言わせた後でかぼちゃの気持ちを言わせる。</p>

	<p>◎トラックにつるを切られたとき、かぼちゃはどんなことを考えたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・痛いよう。ひどいじゃないか。 ・車のせいだ。 ・こんなことなら、みんなの言うことを聞いておけばよかった。 ・言うこと聞かないぼくが悪かったよ。ごめんね。 ・これからはわがまましないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで発表し、全体での発表に自信をもたせる。そして全体の発表で、できるだけたくさん発言させ多様な価値観に気付かせたい。 ・考えを交流することで、かぼちゃがつるを切られて初めて、自分の自己中心的な行為に気付き、わがままをしないと書いた心の変容をとらえさせ、ねらいとする価値にせまりたい。
<p>展開 後段 7分</p>	<p>4 自分の生活を振り返り、わがままをがまんした経験について話し合う。 ○かぼちゃさんのように、わがまましていたけれど、もうしないって思ったことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃべりをしていたら、友達に注意されたのですぐにやめた。 ・まだ遊びたかったけど、友達に言われて教室にもどった。 ・テレビを見ていたけど、家の人に注意されて見るのをやめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの生活を振り返り、わがままをおさえると自分も周りの人も気持ちよく生活できることに気付かせたい。
<p>終末 3分</p>	<p>5 教師が「わがまま」についての説話をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の小学校時代の話をし、わがままをがまんすることの大切さを十分感じさせたい。

かぼちゃのいる

かぼちゃさん、こっちはひとがとおるみちだよ。

はち

かぼちゃさん、あなたのはたけは、まだあいていますよ。

ちょう

道

トラックの絵

いぬ

かぼちゃくん、ここはみんながとおるみちだよ。これではとおりにくいよ。

かぼちゃさん、わたしのはたけにはいらないう。

すいかの絵

いたいよう。あーん、あーん。

泣いている
かぼちゃの絵

○みんなのいうこときいておけばよかった。
○いくときかないぼくがわるかったよ。ごめんね。
○もうわがまましないよ。

かぼちゃの絵

・もつととおくまでのびるぞ。
・きもちがいいなあ。

そんなことかまうもんか。

・ちよつとくらくらいいいだろつ。
・ひとがよければいいだろつ。

ほつといてくれ。ぼく、そつちへのびたいんだい。

・そつちにいきたいの。
・ぼくのはたけはせまいんだもの。

(畑の風景の絵)

またいでとおればいいじゃないか。

・ほうつておいてよ。
・ぼくのかつてだろつ。

すこしぐらいいいじゃないか。けちけちするないう。

・けちなこというなよ。
・うるさいなあ。

6 資料分析

資料名 かぼちゃのつる
(出典：学研 みんなのどうとく 1年)

[ねらい] 人の忠告を聞き入れることの意義や大切さを自覚し、自分の言動を反省して、わがままをしないうで生活しようとする心情を育てる。

